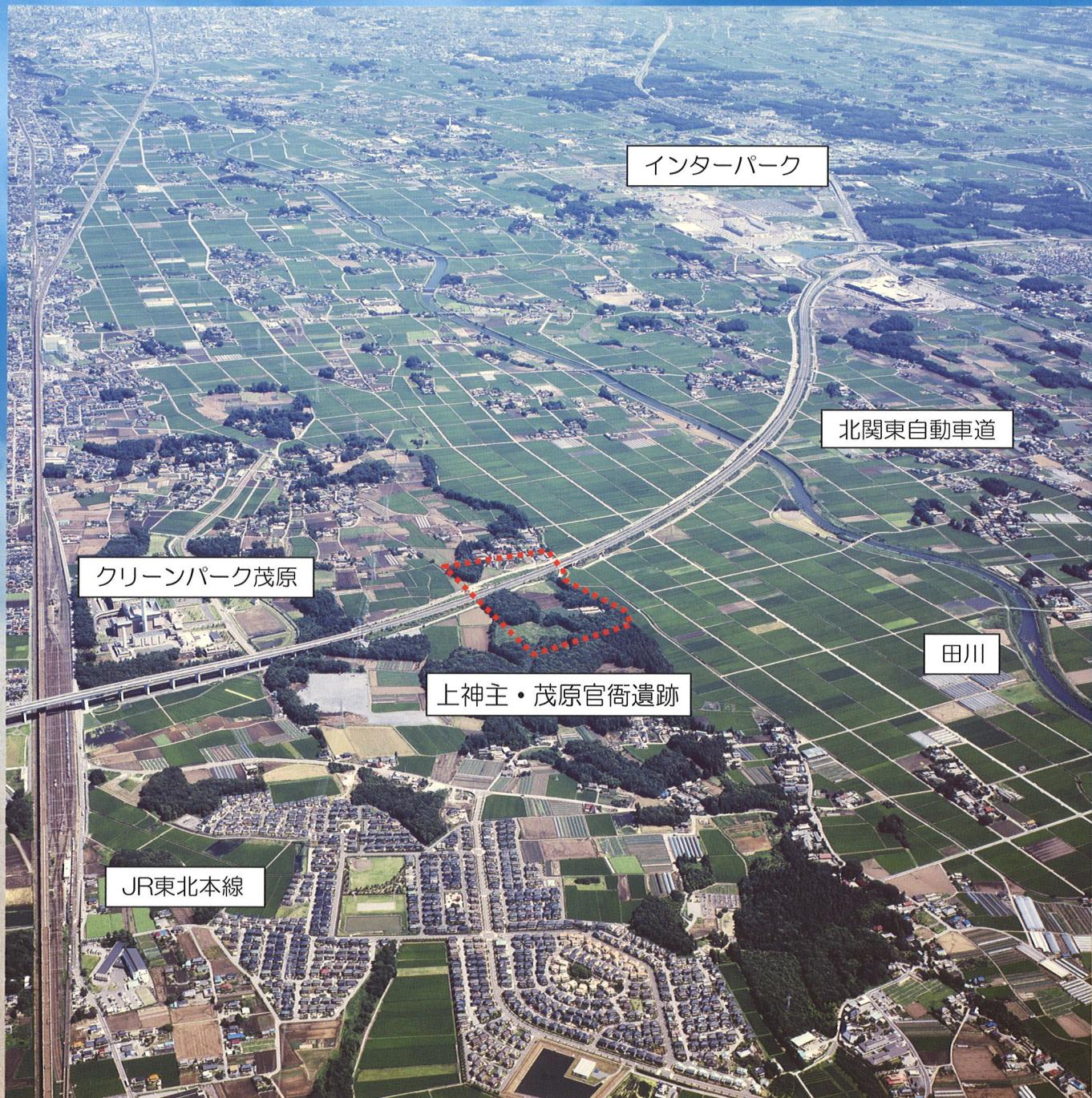


発掘された古代の役所

かみこうぬし もばらかんがいせき  
**上神主・茂原官衙遺跡**



上神主・茂原官衙遺跡は、宇都宮市茂原町と  
上三川町上神主にまたがる遺跡で、平成15年  
8月27日に国の史跡に指定されました。



宇都宮市教育委員会・上三川町教育委員会

## 上神主・茂原官衙遺跡ってなに？

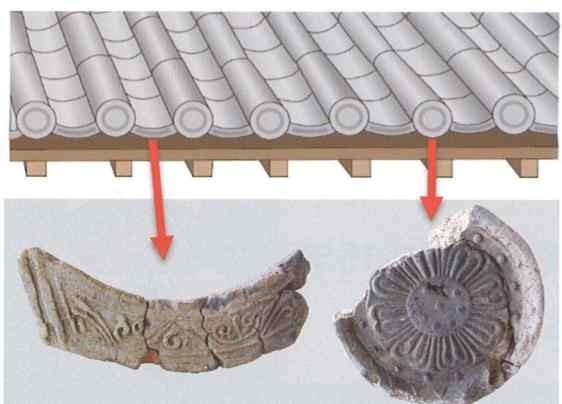
官衙というのは、古代の役所のことです。遺跡の大きさは、南北に約400m、東西に約250mあります。7世紀の中ごろから天皇を中心とする国づくりが進みました。人々は、租<sup>(※1)</sup>、調<sup>(※2)</sup>、庸<sup>(※3)</sup>といった税を納めるようになり、税は、まず地方の役所である官衙に集められました。

※1…稻を納める ※2…織物や地方の特産物を納める  
※3…労役のかわりに布を納める

正倉… 租として納められた稻を保管しておく高床式の倉庫。図のように多くの倉庫が規則正しく建てられていました。正倉の中に1棟だけ、瓦の屋根をもつ大型の建物がありました。

## 発掘された瓦に文字が！

上神主・茂原官衙遺跡の発掘調査では、人の名前などの文字が刻まれている瓦が約2,300点も出土しています。これは当時の河内郡に住んでいた人々の名前であろうと考えられています。古代の役所跡から、このように多数の人名が確認されている例は、全国的に見てもほとんどありません。



宇瓦

燈瓦

出土した瓦



雀マ小酒

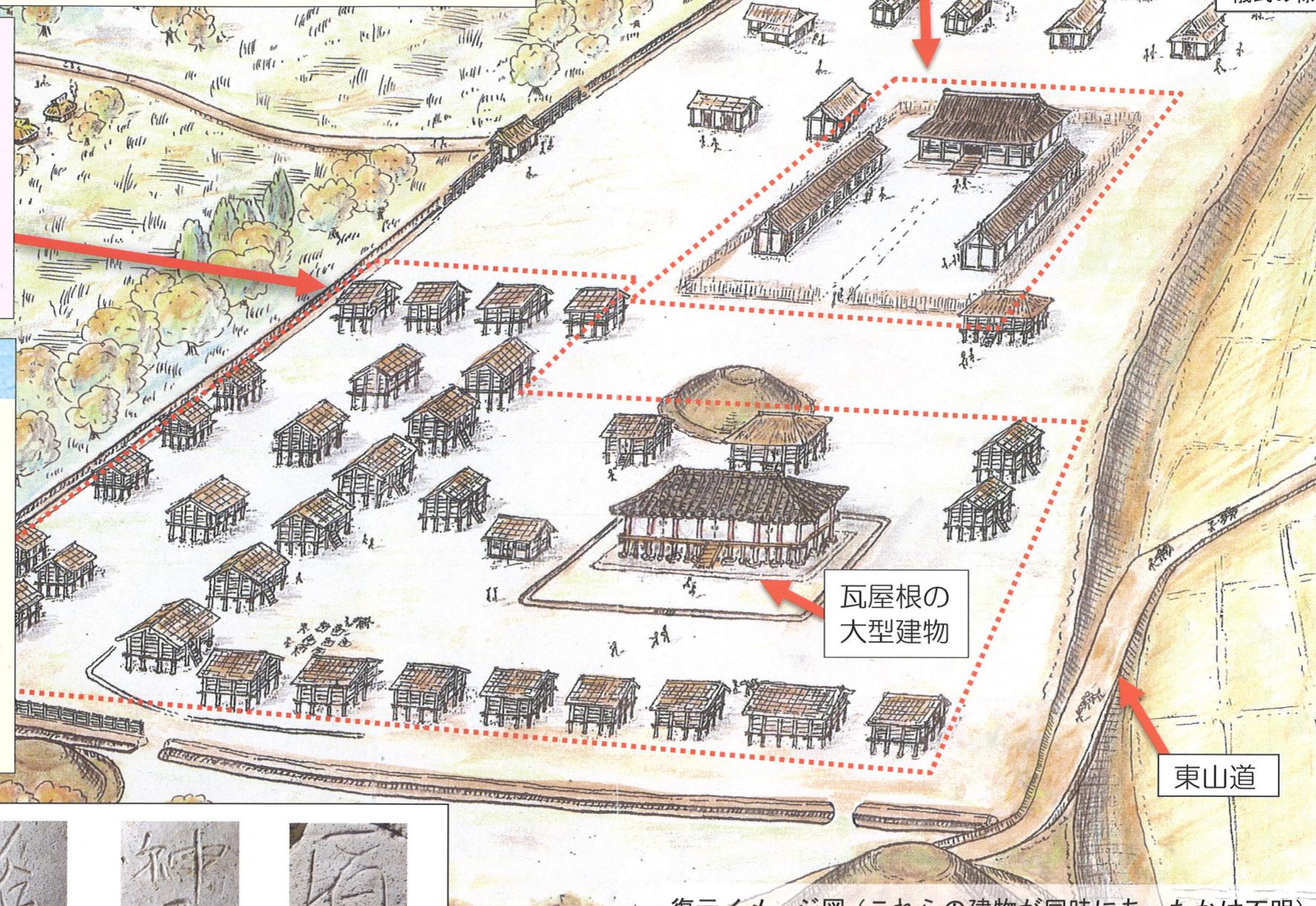
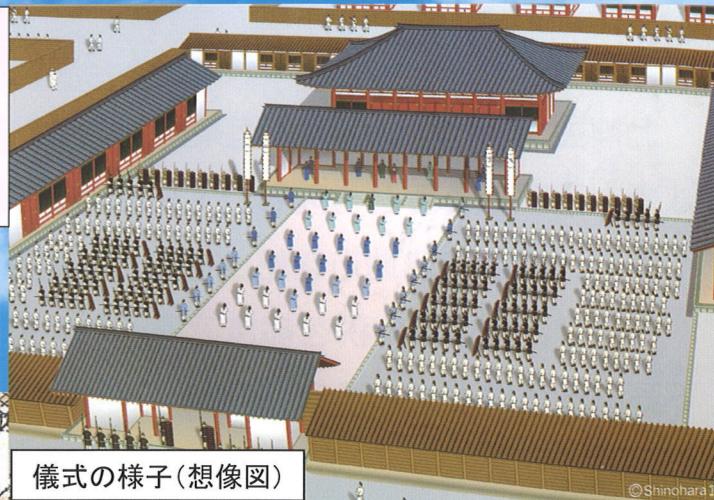


神主マ牛万呂



酒マ毛人

政厅… 役人が法律にもとづいて地方の仕事をしたり、いろいろな儀式が行われたりした場所。



「雀マ」は「ささきべ」、「神主マ」は「こうぬしひべ」、「酒マ」は「さかべ」と読みます。「マ」は「部」の字を、つくりの部分だけに省略して刻んだものです。

上神主・茂原官衙遺跡の周りには、今でも「雀宮」や「上神主・下神主」といった地名があります。当時この地域に住んでいた人々の名前と、何か関係があるかもしれません。



上神主・茂原官衙遺跡で使われた瓦は、この遺跡から13kmも北にある水道山の登り窯で作られたんだって！当時、瓦を使った屋根の建物は、とてもめずらしかったらしいよ！



宇都宮市マスコットキャラクター「ミヤリー」

# 集められた税はどうやって都に運ばれたの？

上神主・茂原官衙遺跡の南東部からは、古代の道路跡が確認されました。この道路は東山道であろうと考えられています。東山道は、天皇中心の国づくりを進めいく中で、都と東北地方を結ぶ道路として整備されたものです。

人々は、調や庸の税を都まで運ぶために、この道路を歩いていたと思われます。  
下野国からはどのような特産物が運ばれたのでしょうか。



遺跡南東部を通る東山道の跡



上神主・茂原官衙遺跡と東山道ルート

| 時代   | 年   | おもな出来事                        |
|------|-----|-------------------------------|
| 飛鳥時代 | 593 | 聖徳太子が摂政となる                    |
|      | 604 | 十七条の憲法を制定                     |
|      | 607 | 小野妹子らを隋に派遣<br>(遣隋使)           |
|      | 645 | 蘇我氏が滅ぶ、大化の改新                  |
|      | 672 | 壬申の乱                          |
|      |     | <b>このころに、上神主・茂原官衙が設置される</b>   |
|      | 701 | 大宝律令が完成する                     |
| 奈良時代 | 710 | 平城京（奈良）に都をうつす                 |
|      |     | <b>このころに、瓦屋根の正倉が建てられる</b>     |
|      | 752 | 奈良の大仏が完成する                    |
| 平安時代 | 794 | 平安京（京都）に都をうつす                 |
|      |     | <b>このころに、上神主・茂原官衙は使われなくなる</b> |
|      | 894 | 遣唐使が廃止される                     |

